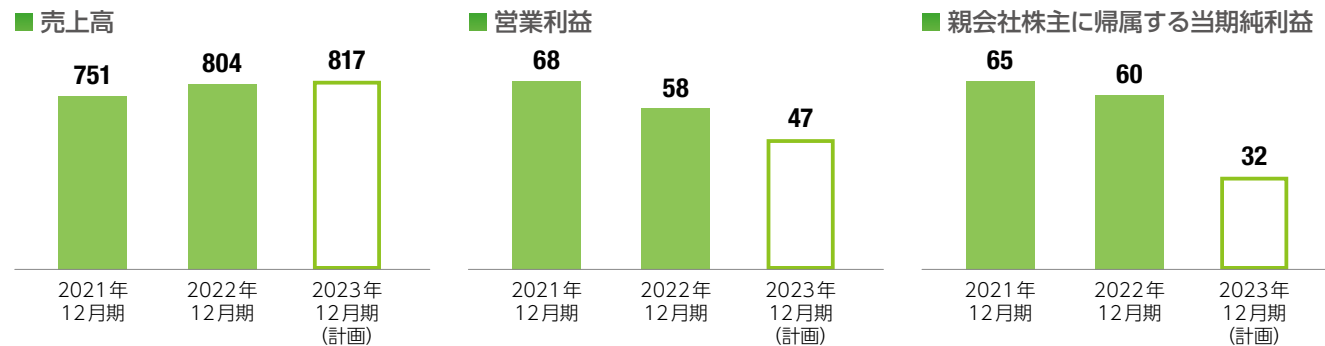


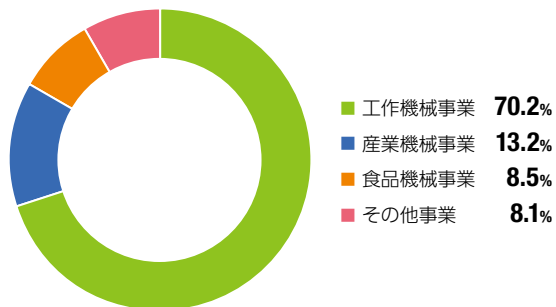
当期の業績について

売上高は、中華圏での工作機械及び射出成形機の販売台数が減少したものの、円安による押し上げ効果で前期比増収となりました。営業利益は、原材料・エネルギー価格の高騰、戦略的人的投資の拡大に伴う人件費の増加等により、前期を下回る結果となりました。

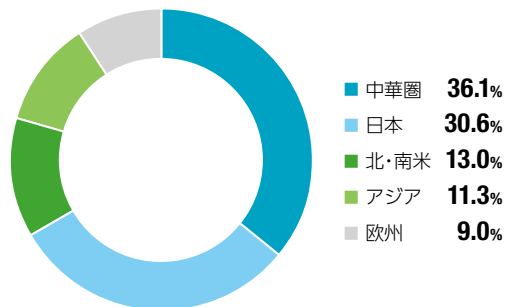
連結損益計算書の概要 (単位:億円)



セグメント別売上高構成比 (2022年12月期)

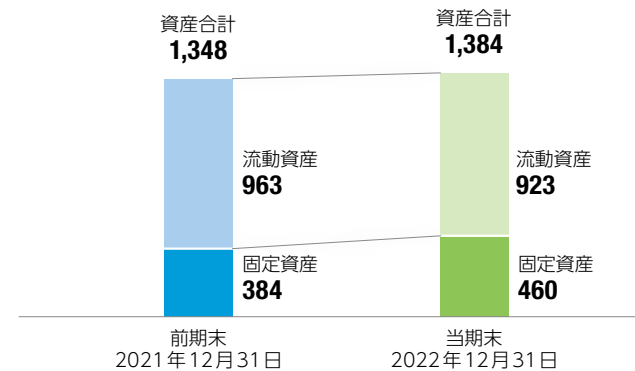


地域別売上高構成比 (2022年12月期)

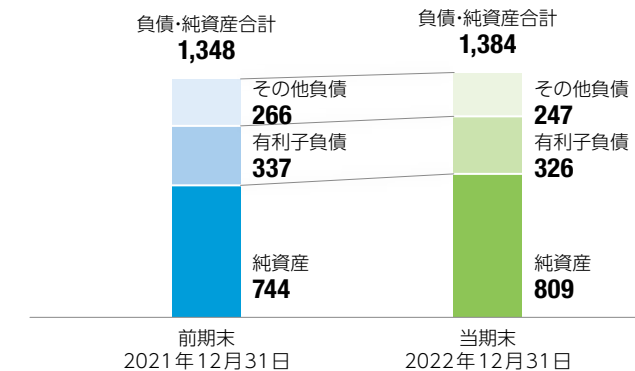


連結貸借対照表の概要 (単位:億円)

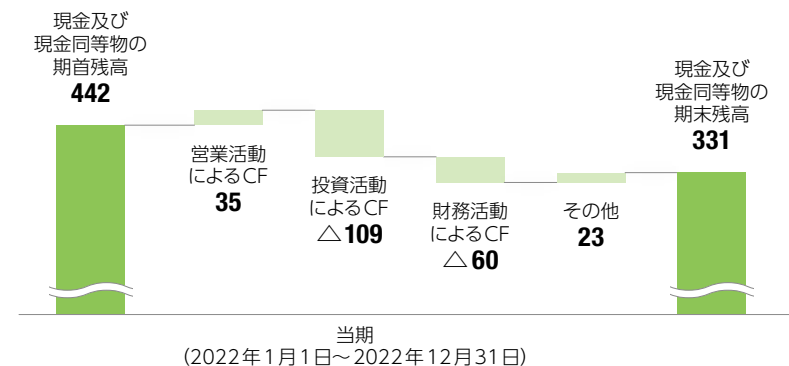
資産の部



負債・純資産の部



連結キャッシュ・フロー(CF)計算書の概要 (単位:億円)



POINT B/S: 資産は、円安進行に伴う為替換算調整勘定の増加により、1,384億33百万円(前期末比35億66百万円増加)となりました。

POINT C/F: 営業CFは、主に税金等調整前当期純利益と契約負債の増加などにより35億43百万円のプラス。投資CFは、主に定期預金の預入による支出などにより、109億57百万円のマイナス。財務CFは、主に借入金の減少と配当金の支払などにより60億12百万円のマイナス。現金及び現金同等物の期末残高は前期末比で110億70百万円減の331億58百万円となりました。

IRサイトでさらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明資料など詳しい決算情報をご覧いただけます

https://www.sodick.co.jp/ir/ir_note.html

ソディックIR

検索

